

## 令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

|       |            |     |              |
|-------|------------|-----|--------------|
| 事務事業名 | 産直活性化事業補助金 |     |              |
| 担当所属  | 農業振興課      | 連絡先 | 092-332-2087 |

## 【事務事業基本情報】

|      |                            |                                 |  |
|------|----------------------------|---------------------------------|--|
| 区分   | ②奨励・支援的事業補助                |                                 |  |
| 該当規程 | 糸島市直売所活性化事業補助金交付規程         |                                 |  |
| 基本目標 | 基本目標7__地域資源を生かした産業創出のまちづくり |                                 |  |
|      | 政策                         | 政策1__農林水産業の振興                   |  |
|      | 施策                         | 施策③__農業における地産地消、市場開拓、ブランド化を推進する |  |
| 補助期間 | 令和2年度                      | まで                              |  |

## 【事業概要・指標】

| 事業概要  | 成果指標                         |
|---|------------------------------|
| <p>【目的】</p> <p>糸島産農林水産物の情報発信・販売拠点である直売所の機能向上と活性化を図る。併せて、直売所ネットワークの構築を図り、連携事業を推進していくことで、上記をさらに強化させる。</p> <p>【対象事業】</p> <p>(1)機能拡充事業：集荷や施設等食材納入用の車両・保冷库購入費用施設の設置・改修、看板設置、HP開設等の費用など</p> <p>(2)イベント開催事業：イベント等の実施に伴う費用（複数直売所が連携可）</p> <p>【対象者】</p> <p>市内に所在する直売所で、当該直売所の年間の総売上げのうち糸島産農林水産物等以外のものの割合がおおむね10分の2を超えないものを運営する団体又は個人</p> | <p>① 対前年比売上げ向上店舗数（令和2年度）</p> |

## 【改革案】

|   |      |
|---|------|
| 今後の実施方向性  | 現状維持 |
| 平成30年度に直売所活性化事業の見直し及び直売所ネットワーク会議を設立。各直売所のイベントや施設拡充支援により活性化に繋げている。 |      |

## 【指標の推移】

| 成果指標 | 単位        | H31年度実績 | 目標値 |
|------|-----------|---------|-----|
|      | ① 直売所（延べ） | 10      | 26  |

## 【投入コスト・人員】

| 年度      | 単位 | 令和元年度決算   | 令和2年度予算   |
|---------|----|-----------|-----------|
| トータルコスト | 円  | 1,218,000 | 1,800,000 |

## 【環境変化等】

|   |
|---|
| <p>開始時の周辺環境・課題</p> <p>糸島ブランドの情報発信基地として直売所の活性化は必要である。ただし、直売所に温度差があり、低迷している店舗も多い。</p>                           |
| <p>現状の周辺環境・課題</p> <p>平成30年度に直売所活性化事業に支援内容も含めて変更したことで、活用は向上している。</p>   |
| <p>今後の予想される周辺環境・課題</p> <p>高齢化により集荷が難しくなっている。このままでは小規模な直売所が閉店するものと見込まれる。</p>                                   |
| <p>市民及び議会等の意向・ニーズの変化等</p> <p>小規模な直売所は、地域での営農継続の助けとなり、耕作放棄地の拡大防止になる。また、学校給食への納入など、地産地消の推進役となる。求められるニーズは高い。</p> |